

二番丁地区（香川県高松市）

1. 二番丁地区の概要

- ・人口 9,589 人、世帯数 4,812 世帯、地区面積 1.32km²
- ・二番丁地区は、高松市の市街部で海岸に近く、低地に街が広がる。
- ・平成 16 年には、多くの台風による高潮や洪水で死者や住宅被害が発生した。
- ・平成 20 年度までに市内に 44 の地域コミュニティ協議会が設立され、高松市自治基本条例に基づき、市と協働で防災対策を含むまちづくりに取り組んでいる。
- ・二番丁地区コミュニティ協議会でも災害経験を基に、平成 16 年から防災の取り組みを進めている。
- ・平成 20 年からは、地区内に立地する香川大学も協力し、避難路の調査や防災マップ作りに取り組んでいる。

2. 今年度の活動

(1) ハザードマップの見直し

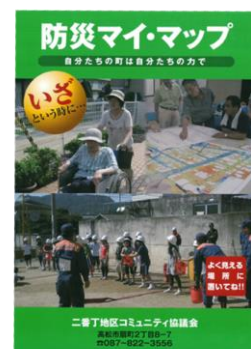
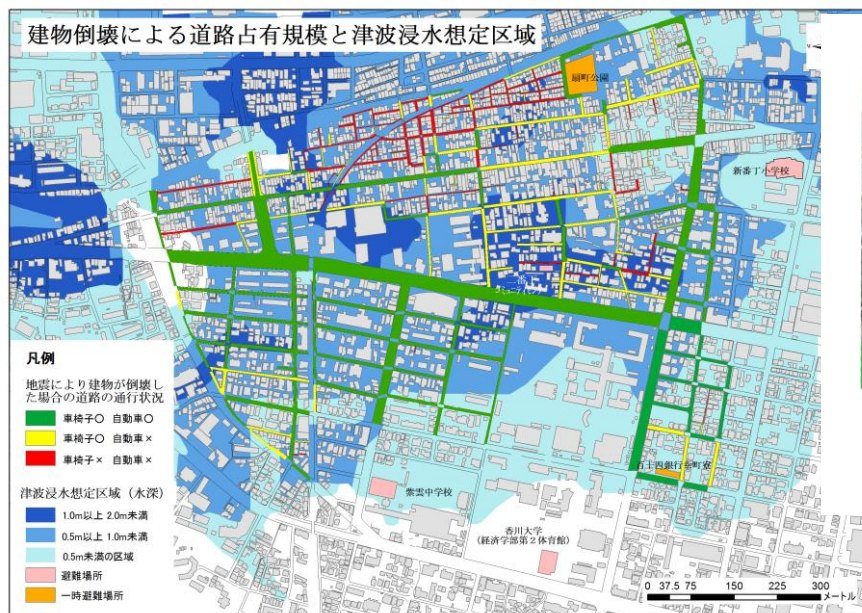
高松市の防災マップの情報と二番丁コミュニティ独自の情報を融合したコミュニティ継続に向けた避難マップおよび避難生活支援マップを作成

- ・高松市防災マップの情報

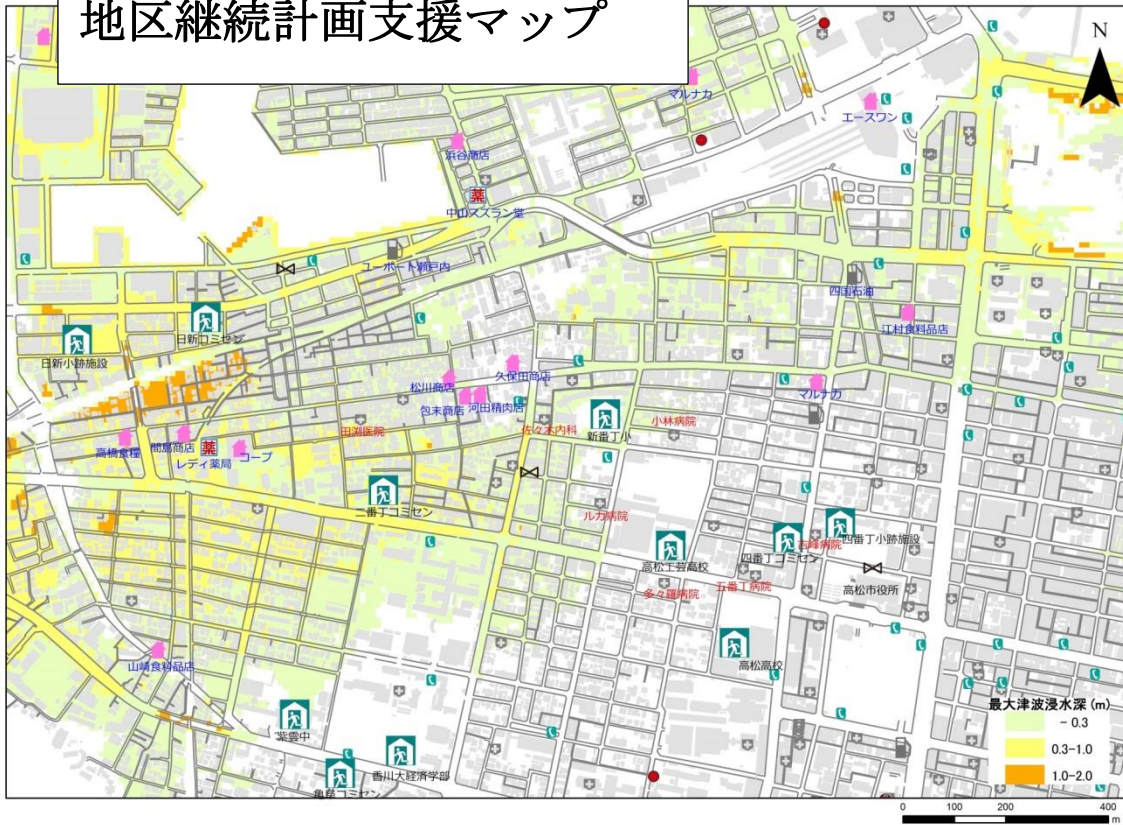
津波浸水深、指定避難所、ガソリンスタンド、食糧品店、医院、公衆電話

- ・コミュニティ独自の情報

ブロック塀および家屋が倒壊した場合の通行可能性で道路を分類



地区継続計画支援マップ



指定避難所：住まい、食糧品店：食糧調達支援、医院・薬局：医療支援、
ガソリンスタンド：エネルギー、公衆電話、無線：情報伝達

(2) 高松市とつくる地域コミュニティ継続計画ハンドブック

- ・高松市と地域コミュニティのアイデアを結集した地域防災計画ハンドブックを作成
- ・高松市から地域コミュニティへの情報提供やコミュニティ発のユニークなアイデアを全コミュニティで活用できるよう集約
- ・コミュニティ防災マップや避難所運営マニュアルとセットで活用
- ・定期的な見直しを実施



3. 今後の取り組み

(1) 地区として

新しいハザードマップや地域コミュニティ継続計画をもとにした訓練と検証の実施。

(2) 高松市と地域でつくる地域継続計画ハンドブック

地域コミュニティ継続計画の全市展開

4. トピックスー備蓄食材の調理研究

避難生活が長期化した際、自分たちで料理をすることが、地区継続を促すと地域の女性たちが発案。

地域コミュニティ継続計画にもその狙いやメニューを掲載している。

栄養士の指導の下、定期的に調理実習を実施しており、一般家庭で常備している食材を使ったレシピを公開している。



*参考写真



高台から見た二番丁地区周辺



平成16年の高潮被害

*参考資料 内閣府 地区防災計画モデル事業報告会 二番丁地区報告資料